


### 3 知っておきたい援助制度や相談窓口

援助制度	内容	窓口
特別支援教育就学奨励費	市立の小・中学校の特別支援学級や通級指導教室に通う子どもの就学に関して、保護者の経済的負担を軽減するため必要な費用の一部を援助しています。	在籍学校 または 就学支援課 ☎047-704-0256
障害児通所支援	放課後又は学校休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練などを行う障害児通所支援の放課後等デイサービスを利用するために通所受給者証が必要です。申請の際には、ご相談ください。	発達支援課 ☎047-370-3561 障害者支援課 ☎047-712-8513

相談の種類	内容	相談窓口
補装具・日常生活用具の 給付	身体障害者手帳をお持ちの方または難病等(特定疾病)の方で、眼鏡・義眼・盲人安全杖(視覚)、補聴器(難聴)、義手・義足・下肢装具等(肢体不自由)を購入(一部修理)する方は、事前にご相談ください。申請書と、種目によって意見書の提出が必要な場合があります。	 障害者支援課 ☎047-712-8513
身体障害者手帳 療育手帳 精神障害者保健福祉手帳	一定の障がいのある方に対して各種の支援を受けやすくするために交付されるものです。	
自立支援医療(育成医療)	現在または将来において、機能障がいを残すと認められる18才未満の児童で、手術などの治療をすることにより機能の回復が見込まれる場合に医療費の助成、補装具の支給をします。(原則医療費一割負担。所得制限あり)	
障がい種別を問わず障がい児・者に関する総合相談	市川市委託の障がい児・者の相談支援機関です。自宅訪問や来所相談により、福祉サービスや制度、地域での支援の提案、調整など「つなぎ」の支援を行います。どこに相談したらいいのかわからないなどの相談も受けます。	基幹相談支援センター大洲 「えくる大洲ステーション」 ☎047-702-5588 基幹相談支援センター行徳 「えくる行徳ステーション」 ☎047-303-3074
子どもに関わる 相談窓口	18歳までの子ども・子育て家庭に関することや、児童虐待の通報窓口です。身近な子育ての不安等さまざまな相談に応じます。また、ひとり親家庭の就労支援や生活資金の貸付け等の相談にも応じます。	子ども家庭総合支援センター ☎047-711-0679

## 4 通級指導教室の一年間

月	保護者との連携	在籍校の学級との連携	教育センター、指導課 義務教育課との連携
4	○保護者と面談（担任発表後） ・在籍校時間割について、希望の確認 ・指導時間、指導内容確認 ・必要書類記入を依頼 ◆指導希望表 ◆家庭環境調査表 ◆特別支援教育就学奨励費  ○保護者会（必要に応じて）  ○指導開始	○第1回担任連絡会	○教育支援委員会調査員会議（教育センター）  <連絡会実施前> ○各校と連絡会の日程調整が済み次第、「連絡会予定表」を指導課へ電子データで提出。指導課から各校へ通知が届き、出張可となるため、連絡会初回実施日のおよそ2週間前には提出する。
5		○教育課程書類提出 ○個別の指導計画作成（前期）	<随時> ○教育センターより 入級希望者連絡 保護者面談 ○義務教育課より 入級の連絡 入級通知書  ○教育センターより 就学調査依頼 調査実施、報告書作成 教育支援委員会出席  ○退級の場合は、義務教育課に「退級報告書」を提出。
6		} ○第2回担任連絡会	
7	○個別面談 ○保護者会（必要に応じて）		
8			
9		○個別の指導計画のまとめ（前期）	
10		○個別の指導計画作成（後期）	
11		} ○第3回担任連絡会 （授業参観）	
12	○個別面談 ○保護者会（必要に応じて）		
1			
2			
3	○個別面談 新年度に向けて、継続の場合 通級日、時間の希望を確認 ○保護者会（必要に応じて）	○報告書の送付（個別の指導計画のまとめ、要録記載事項） ○進学先への引き継ぎ（必要に応じて）	

※年度途中の入級や在籍校の担任が替わった場合は、随時必要に応じて連絡会を実施してもよい。

## ＜参考資料＞ 必要な備品や教具一覧

ことばの教室、きこえの教室、自情等通級指導教室		
設 備	1	児童用机・児童用椅子（必要数）
	2	教師用片袖机・教師用椅子（必要数）
	3	カーテン・衝立・パーテーション
	4	清掃用具ロッカー
	5	ホワイトボード（マグネット使用可）
	6	整理棚（トレー付き）、多目的キャスターワゴン
	7	グループ学習用テーブル
	8	デジタルカメラ・メモリーカード・メモリーカードリーダー
	9	テレビ・電子黒板、ICレコーダー等ICT機器
	10	【ことばの教室】 鏡、鼻息鏡
教 具 （ 感 覚 統 合）	11	《バランスをとろう》 スポットジャンピング手すり付き、バランコ
	12	《体全体を動かそう》 フロアーマット、スポーツマット、スクーター
	13	《細かな運動》 パズル、ビーズ、ブロック、ジェンガ、ペグさし、ひもとおし
	14	《集団で遊ぼう》 ボール、なわとび
	15	《姿勢を保持しよう》 ハートリーフクッション、滑り止めシート、足台 バランスボール
教 具 （ 自 立）	16	《時間を管理しよう》 タイムタイマー、スケジュールボード
	17	《ルールをおぼえよう》 UNOカード、トランプ、人生ゲーム、輪投げ、ダーツ
	18	《言葉を覚えよう》 かるたす、ひらがな、配列カード
	19	《コミュニケーション》 ソーシャルスキルトレーニングボード、配列絵カード
	20	《気持ちを伝えよう》 声のものさし、きもちの温度計、ことばの宝箱
	21	《情報を遮断して心を落ちつけよう》 イヤーマフ、簡易机上ブース
器 具	22	《アセスメントのために》 構音検査

## 5 通級指導教室の学習環境

まず初めに、教室環境を整えましょう。集中して学習に取り組むことができるように、カーテンで目隠しをしたり、衝立やロッカー等を利用して区切ったりすることも大切です。

教室<小学校（自閉症・情緒障がい、LD・ADHD）>



黒板はカーテンで隠したり、必要な物以外貼ったり書いたりしないようにします。

外からの視線を気にすることがあるので、透明な窓ガラスにはカーテンをします。

様々な高さの机があると、子どもが自分の身長に合わせて机を選ぶことができます。



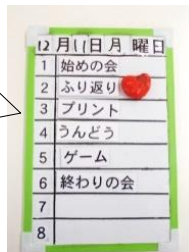
姿勢を保持するために足置きを置いたり、座る場所を明確にするためにダンボール箱の座椅子を用意したりします。



作業やグループ活動をするなど活動内容に応じて、活動場所を変えることができます。



今日の学習予定。マグネットを活動中の場所に置くことで、さらに見通しが持ちやすいです。



タイムタイマー（左）とスクールタイマー（右）を使用すると、終わりの時間がわかりやすくなります。



ロッカーや衝立で区切り、リラックスできる場所を作ります。畳やフロアマットを置き、靴を脱いで本を読んだりゲームをしたりできるようにします。



他校通級の場合、ランドセル置き場やハンガーラックを設定しておく、荷物整理がわかりやすくなります。

また、ハンガーに洋服をかける練習にもなります。



「勉強中」「面談中」等の札をドアに貼っておくと、教室での活動内容がわかりやすいです。



足型を置いておくと、靴を揃えて置く場所の手がかりとなります。

教室<中学校 (自閉症・情緒障がい) >



教室<小学校 (ことばの教室) >



発音練習は、声が反響しにくい小部屋ですと効果的です。

プレイルーム  
<小学校 (自閉症・情緒障がい、LD・ADHD、ことばの教室)>



教室と同じように、プレイルームでも集中して活動できるようにすることが大切です。使わない物は、視界に入らない場所に片づけるようにしましょう。子どもと一緒に準備をしたり、片づけたることも大切な活動の一つになります。

## 6 市川スマイルプラン（個別の教育支援計画）、個別の指導計画とは



Q1：市川スマイルプラン（個別の教育支援計画）とは、何ですか？

「個別の教育支援計画」とは、発達に課題があるなど、教育的ニーズのある子どもたちに、幼児期から学校卒業後の社会生活までを一貫して支援していくためのツールです。保護者をはじめ学校、医療、保健、福祉、労働等の関係機関が連携して効果的に支援をできるようにするためのもので、市川市では「市川スマイルプラン」と呼びます。

Q2：市川スマイルプランは、どのような子どもを対象に作成するのですか？

保護者の希望、同意を確認したうえで作成します。

- (1) 特別支援学校・特別支援学級に在籍する子ども及び通級指導教室に通う子ども全員。
  - (2) 通常の学級に在籍する子ども。
    - ① 障がいがあるとの診断を受け、特別な教育的支援が必要な子ども。
    - ② 診断は受けていないが、学習面や行動面、集団生活の中で、教育的支援が必要な子ども。
- ※ ①②に該当しない場合でも、校内委員会でその必要性が確認され、保護者から作成の要望があった子ども。

Q3：作成するのは誰ですか？

実質的には、在籍校の学級担任や特別支援教育コーディネーター等が中心になって、保護者と相談しながら作成します。しかし、担任個人に任せるのではなく、校内委員会等を通して検討していくことが必要です。特に保護者とは、作成・実施・評価の場面等において常に共通理解を図っていく必要があります。通級指導教室担当者は、学級担任と話しながら、作成に協力します。

Q4：市川スマイルプランを作成するメリットは？

- 子どもの将来の姿を思い描き保護者と一緒にそのための支援について話し合うことができます。
- 今の姿と、将来の姿を考えて、必要な支援について学校以外の生活についても提案したり、計画を立てたりすることができます。
- 現在受けているサービス（支援）内容について、学校と他の関係機関との連携（情報）のやりとりがしやすくなります。
- 作成と活用により、教師間だけではなく、保護者の方や関係機関と連携協力しながら、指導方法・内容を計画的・組織的に工夫・改善していくことができます。
- 各ライフステージにおいて、その情報が引き継がれ、支援内容が途切れることなくスムーズな移行ができるようになります。（例 幼稚園→小学校、小学校→中学校、学年進級など）

### Q5：「個別の指導計画」とは、何ですか？

「個別の指導計画」は、各学校で編成する教育課程に基づき、子どもたち一人一人の障がいの状態等に応じたきめ細やかな指導が行えるよう、指導目標や指導内容・手だてなどを具体的に表した指導計画です。各教科等の目標や内容、配慮事項などを具体的に示します。長期目標とは1年で達成できる目標、短期目標とは学期毎で達成できる目標をたて、達成できるための手だてを考えます。計画・実施・評価・改善（見直し）という一連のサイクルがうまく機能することによって、効果的に活用することができます。

### Q6：「個別の指導計画」は、どのような子どもを対象に作成するのですか？

学習指導要領では、特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室においては、すべての子どもたちについて作成しなければならないことが示されています。通常の学級に在籍する子どもについては、基本的には、個別の教育支援計画を作成する対象と同じです。

通級指導教室においても、個別の指導計画を保護者に提示することで、保護者と担当者が同じ方向を目指して支援することができます。

### Q7：「個別の指導計画」を作成するメリットは？

- 「個別の指導計画」を基に適宜評価を行い、指導内容や手だてなどを改善することで、効果的な指導につながります。
- 子どもの様子や指導目標・内容等について、教職員の共通理解が進みます。
- 校内支援体制づくりに役立ちます。個別指導や集団活動での配慮や支援が充実します。
- 進級・進学等の引き継ぎの資料となり、一貫性や系統性のある指導を行うことができます。

#### 参考資料

- ◇小学校学習指導要領
- ◇小中学校における個別の教育支援計画作成の手引き（2007） 千葉県教育委員会
- ◇市川市個別の教育支援計画 市川スマイルプラン実施要項（2015） 市川市教育委員会

#### （書式例）

<自閉症・情緒、LD・ADHD教室の例>

平成\*\*年度 個別の指導計画  
 通級開始日 日\*\*年\*\*月\*\*日 個別指導 週 回 計 時間  
 学年 年 月 日 〇〇小学校\*\*年\*\*組

1 児童の実態

① 医療機関等

診断名 ADHD	名称 〇〇病院（日**年**月より） 〇〇ドクター	服薬・回数等
-------------	---------------------------------	--------

② 学校

入級主眼	在籍学級	通級指導教室
対人 情緒 行動等		
学習		
スマイル プラン	作成済	作成中 作成予定なし

指導終了時の目標

1 今年度の目標と指導計画

	目標	単立で	指導の策子
対人・ 情緒・ 行動等			
学習			

2 関係と今後の課題